協力 感謝 信じて 逃げずに
11月
2026年度
西神吉小だより
加古川市立 西神吉小学校
学校通信
No.112

～ 校内音楽会、大成功！！ ～

１１月５日（木）、校内音楽会を行いました。児童代表のはじめの言葉のあと、校長あいさつで西神吉っ子たちに次のように話しました。

校内音楽会で話したこと

西神吉っ子のみなさん、おはようございます。いよいよ校内音楽会の日を迎えました。これまで音楽の授業だけではなく、休み時間やお家でも自分から練習をがんばってきた人がたくさんいますね。練習の時とは違って、今日はたくさんの人の前で歌ったり、演奏したりします。緊張で声が出なかったり、音を間違えたりするかもしれません。でも、音楽会で一番大切なことは失敗しないことではありません。もちろん、失敗しないほうがいいですが、それよりも大切にしてほしいことがあります。それは、「心を合わせる」ということです。合唱にも合奏にも「合わせる」という漢字が使われています。一人ではなく、みんなで歌ったり、演奏したりして、１つの曲をつくります。「みんなでよいものをつくろう！」とか「みんなのために一生懸命しよう！」「自分の役割をしっかり果たそう！」という心で歌ったり演奏したりしてほしいと思います。

そして、そのような心でがんばっている人たちの歌声や演奏は、「目」と「耳」と「心」でしっかり聴いてほしいと思います。おしゃべりしたり、ごそごそしたりでは、がんばっている人に対して失礼ですね。マナーを守って聴いてください。そして、はじめと終わりには、たくさんの拍手でお互いを称えましょう。

音楽会は、『音』を『楽しむ』会です。今日はそんな１日になればいいなと思います。そして、明後日のひびきあい音楽会では、今日以上の合唱と合奏にしてほしいです。これで最後のひびきあい音楽会となる６年生には、特に期待しています。

それぞれに緊張や不安が少なからずあったと思いますが、どの学年も一生懸命に歌い、演奏することができました。今年は、西神吉認定こども園の年長組の園児さんたちも招待しました。園児さんだけでなく、体育館にいる全ての人が、自然とリズムをとっていたり、手拍子をしていたり、まさに「音」を「楽しむ」時間になりました。本当にステキな時間でした。西神吉っ子はやっぱりすごい！！

最後の講評では、「ひびきあい音楽会では、心を合わせる気持ちを大切にして、今日以上の歌声と演奏を保護者、地域の皆様に届けましょう」と話しました。きっとステキな『ひびきあい音楽会』になると思います。

保護者の皆様には、お子様の体調管理をよろしくお願いします。

西神吉っ子の一コマ














